

大阪労連女性部ニュース NO 8 2010年3月10日

発行 〒530-0034 大阪市北区錦町2-1 国労会館 大阪労連女性部

TEL 06-6353-6421 FAX 06-6353-6420

国際女性デーに620人



国際女性デーは今年で100年目を迎えます。

大阪では、3月8日、エル大阪で620人が参加し、「子どもが生める国」フランスと日本の違いを学びました。

講師の都留民子（広島県立大学教授）さんは、

「社会保障を求める運動は、

自分たちが作り出した富を取り返す運動であり、富の平等な配分を要求する運動である。」

「フランスでバカンス法が1931年に創られた時、社会問題大臣が、『労働者は余暇・文化活動の中に生きがいを見出すべきである』と述べている。」

「フランスでは賃金から解放された生活＝社会保障がすすんでいる。たとえば子育て保障は、出産は無料、幼稚園から大学まで学費は無料、子育てのために退職・パートに変更した場合の手当てまで。」

などと述べられ、日本がいかにか遅れているか再確認する内容でした。

感想から

- ・ 感動しました。
- ・ よくわかったけれど、「労働を安売りしないで」って言われても、そうしないと生きていけない実態がある。そういう人たちはどうすれば？
- ・ 組織率8%のフランスで、こんなに権利がいっぱいあるフランスにおどろいた。日本の常識は世界の非常識だと実感した。働きすぎないで、もっと休もうっと。

運動の交流では、大阪労連女性部は、八尾市の中央交通で働くバスガイドが、会社のセクハラ・パワハラと裁判でたたかっていること、全国一般「しばた分会」（生協へ物品をおろしている会社）の女性が、組合つぶしで、誰もいない倉庫に閉じ込められ、監視カメラまでつけられている実態を報告し、支援を訴えました。

**3・18菜の花行動 11：45 東横堀緑道公園（北浜下車）集合
ランチタイムデモの後、団体訪問。アポとりも進んでいます。**

3月21日～22日の「おおさか社会フォーラム」に大阪労連女性部も参加します。
世界10カ国以上の地域から参加申し込みもあります。ぜひ参加を！（チラシは裏面）

女（ひと） & 男（ひと） フォーラム

国連女性差別撤廃委員会の勧告



を生かそう



「自治体が非正規労働者を解雇するなんておかしい！」

「おおさか社会フォーラム」でしゃべりあいましょう

3月21日、22日「おおさか社会フォーラム」が開催されます。
22日は、30以上の分科会が持たれますが、私たち女性団体で、「働く女性の分科会を持つ」と計画しました。

今、大阪府内の自治体で働く非正規労働者の女性を雇い止めする動きが急増しています。非正規で学童保育や給食調理員として働く人たちの多くは女性で、長い間低賃金で働いてきました。「低賃金で働く労働者をまもらなければいけない立場の自治体が、自ら労働者のくびを切るなんて！」と怒りと疑問の声があがっています。

なんでそんなことがまかり通るのか、どうすればいいのか語り合いませんか。国連では、昨年「日本政府は女性への差別をなくすための努力が足りない」と強く勧告してくれています。世界はすすんでいます。

「おおさか社会フォーラム」は、何かを決めたりする性格のものではありませんが、さまざまなグループや個人の意見を交流し、パワーをもらいあいましょう。

日 時 3月22日（火）13：30～16：00

場 所 エル大阪地下一階「プチエル」

参加費 無料ですが、「おおさか社会フォーラム」参加費として1000円。

当日10：30から同じ会場で、映画「私たちは嵐の中に立つ」を上映します。1970年代に始まった韓国 東一（トンイル）紡績の女性労働者のたたかいを描いたドキュメンタリーです。
（上映1時間半）

おおさか社会フォーラムって何？という方は、パソコンで「おおさか社会フォーラム」のホームページをご覧ください。

主催	大阪自治研男女平等政策部会
連絡先	新日本婦人の会大阪府本部
TEL	06-6761-0182
FAX	06-6761-0175